

# 夕張メロン産地再興戦略

[平成29年3月27日策定]

【趣旨】 我が国農産物トップブランドの「夕張メロン」は、国内市場や実需者からの増産要望も大きく輸出拡大も期待されているが、産地では生産者の高齢化や担い手、雇用労働力の不足により作付面積が減少するなど生産体制の弱体化が懸念されている。

夕張メロンを今後も地域農業を支える基幹品目として生産を持続し、我が国を代表する農産物として国内はもとより世界に販路を拡げるため、生産体制をより強固なモノにする必要がある。

## 1. 現状

(1) 平成28年の夕張メロン栽培農家は116戸で、10年前と比べ約2割減少。

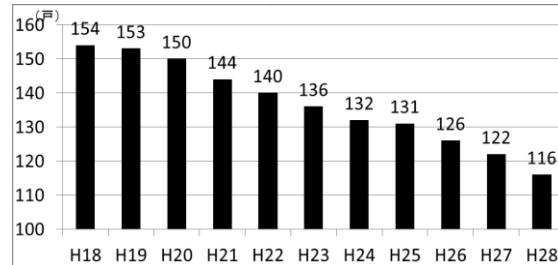
(2) 27年の基幹的農業従事者数は359人で、22年の438人に対し約2割減少。

(3) 60歳以上の基幹的農業従事者の割合は、22年の38%から27年は48%に上昇。

(4) 28年の夕張メロン作付(実)面積は、173.5haで、10年前と比べて約2割減少。

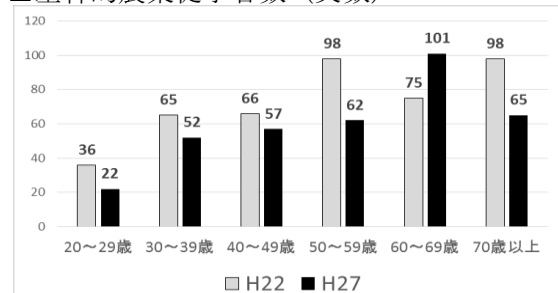
(5) 28年の夕張メロン生産額は23億6,500万円で、市農業生産額の約8割を占める。

■夕張メロン栽培農家戸数



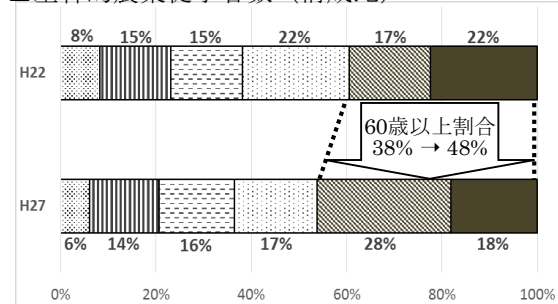
資料：J A 夕張市

■基幹的農業従事者数 (実数)



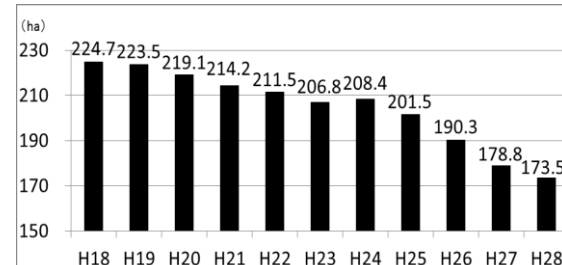
資料：農林業センサス

■基幹的農業従事者数 (構成比)



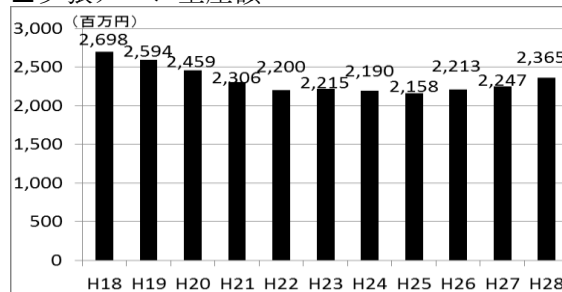
資料：農林業センサス

■夕張メロン作付(実)面積



資料：J A 夕張市

■夕張メロン生産額



資料：J A 夕張市



## 2. 課題

### (1) 担い手の確保

- ア. 新規就農者数が少なく、1戸当たり経営面積の拡大にも限界があるため、新規参入者の育成・確保が必要。
- イ. 優れた技術を持つ生産者の技術の継承のため新たな担い手の確保が必要。
- ウ. 分家や法人化など経営の継承、拡大に向けた検討が必要。

### (2) 雇用労働力の確保

- ア. 市内住民からの雇用労働力の確保が困難。
- イ. 外国人技能実習生を受け入れているが、実習期間が限られていることや、言葉や習慣の違いなどが課題。
- ウ. ボラバイトなどが新規就農に繋がっている事例もあることから、これらの受入の検討が必要。
- エ. 雇用労働力を安定的に確保するためには、住居の確保が課題。

### (3) 生産の拡大

- ア. 市場、実需者等からのニーズに対応するため、新たな担い手や労働力の確保、パイプハウスの更新や増棟、省力化技術の導入、加工専用メロンの生産、効率的かつ衛生的な生産出荷体系の確立が必要。
- イ. 加工用仕向について、気象条件等により供給量が不安定なことから、実需者ニーズに対応した安定生産体制の構築が必要。
- ウ. 輸出に向けた生産出荷体制の確立が必要。

## 3. 基本戦略

基本戦略	取組項目	関連事業等
担い手・労働力確保対策	ア 地域（農事組合）ごとの話し合い <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規参入者の必要性の共通認識醸成</li> <li>・ 他地域の事例、支援制度等紹介</li> <li>・ 新規参入希望者などの受入希望調査</li> </ul>	□夕張市人・農地プランの見直し  ☆農家労働力の雇用問題解決に向けた実態調査
	イ 雇用労働力の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実態調査と雇用問題解決策の検討……………</li> </ul>	
	ウ 受入体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加工向けメロン生産からスタートする新規参入モデルの確立</li> <li>・ メロングループによる受入・指導体制構築</li> <li>・ J A、市による支援体制構築</li> </ul>	
生産拡大対策	エ 住居問題の解決策の検討	☆夕張メロン生産安定対策事業  ☆夕張メロン加工用原料の安定供給に向けた生産基盤支援事業
	ア 生食向け生産の安定・拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハウス、客土、暗渠排水等整備への支援……</li> </ul>	
	イ 加工向け原料の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊休農地を活用した加工向けメロン栽培への支援……………</li> </ul>	
	ウ JGAP導入による生産工程管理の改善	
	エ 選果施設の高度化	
	オ 加工施設・設備の高度化	
カ 長期貯蔵技術の検討		

□各取組の推進に当たっては、産地パワーアップ事業や農業次世代人材投資資金などの効果的活用を努める。

## 4. 推進体制

